進路だより

発行：進路指導部
No.3　令和7年6月24日☆彡

○同窓会ホームページが完成しました！

卒業生保護者を中心とする同窓会事務局の皆様が、「同窓会ホームページ」を立ち上げられました。

本校ホームページの「同窓会」に、同窓会ホームページへのリンクがありますので、是非ご覧ください。誰もが参加しやすくなるように、卒業生本人や、保護者が卒後も繋がることのできる場であるようにとの思いで運営してくださっております。今後の同窓会に係る連絡は、同窓会ホームページより、発信されます。

○進路関係の予定（7月）

・高3　5者面談　7日（月）AM（大宮区・南区）　8日（火）AM（西区）　11日（金）AM（桜区）
　　14日（月）AM（北区）　15日（火）AM（浦和区）　18日（金）AM（中央区①）
　　22日（火）AM（中央区②）
・高1保護者向け進路ガイダンス　3日（木）AM
・高2・3進路面談（学年よりご案内いたします）　24日（木）～29日（火）
・卒業生アフターケア期間　24日（木）～8月25日（月）

○お知らせ・情報提供

★新規事業所情報（6月1日更新分）

○ありすば工房（特定非営利活動法人ありのままでスバラシイ）　就労継続Ｂ
　住所：さいたま市大宮区三橋1－408－2階　TEL：050-3200-8261
○リハスワーク南浦和（株式会社リハス）　就労継続Ｂ
　住所：さいたま市南区南本町1－16－7第二小池ビル1階　TEL：070-3338-8681
○ジョブポイントらいく・ゆー　南浦和（株式会社東都広告）就労継続Ｂ
　住所：さいたま市南区南本町1－5－7　ルアンビル1、2階　TEL：048-762-6375
○GOOD　THE　GOOD（株式会社スタートライン）就労継続Ｂ
　住所：さいたま市大宮区北袋町2－424　コーフク本社ビル　TEL：080-4205-5985

○事業所へ問い合わせをしたり見学をしたりする場合は、担任までその旨をお伝えください。
○保護者から企業への直接の問い合わせはできません。御遠慮ください。
○事業所のパンフレットは学校からの配布物ではありません。事業所より配布を依頼されたものに限って配布をしています。また、希望する進路先を問わず平等に配布しています。

○卒業生保護者からの体験談をご紹介します。

「12年を振り返って」～令和5年度卒業生保護者　橋詰　早智子様～

橋詰様は、令和5年度に本校のPTA会長をお務めいただきました。同窓会事務局や運営協議会等、現在も引き続き本校の為にご尽力いただいております。「卒業生保護者の視点で、12年間の体験記をお願いします」と無茶なお願いにも関わらず、快くお引き受けいただきました。**「特に小中学部の保護者の方々への気付きになれば」**というメッセージと共にお預かりしました。裏面へ掲載しておりますので、是非ご覧ください。

裏面へ→

12年を振り返って

令和5年度卒業生保護者　橋詰　早智子　様

市療育センターの母子・単独通園を経て、平成24年に小学部に入学しました。息子は知的障害を伴う自閉症で、発語ほぼなし、てんかん発作もあります。

①在学中のこと

息子の場合、本人が進路選択するのは難しいので、保護者が就労や福祉サービスについて、知識を得ることは大切だと思っていました。支援学校では、子どもの将来に関する学びの機会が多くあります。進路だよりから情報を得る他に、例えば、障害がある子ならではの将来についての勉強会や、卒業後に通うかもしれない作業所の見学会などを、PTAやおやじクラブ等が主催・企画していることもあります。子供が小学生でも、まだ早いと思わずに「とりあえず」参加してみると、将来をイメージするきっかけになると思います。

小中学部の頃は、年1回くらいを目標に勉強会や見学会に参加していました。PTA進路対策部の役員をしたこともあります。福祉サービス事業所の事業形態や初めて聞く障害福祉の専門用語も、参加しているうちにだんだんわかるようになりました。

また、授業参観や行事のときに少し上の学年の学習活動を見て、大きくなるとこんなことができるのかな、と息子の成長した姿を想像し、どのような進路が合っているのか考えたりしました。

中学部2年の終わり時にコロナ禍となったので、卒業後の進路を意識して本格的に施設見学を始めたのは、高等部1年になってからです。生活介護を中心に20か所くらい見学したでしょうか。たくさん見ているうちに「ここはうちの子には合いそう（合わなそう）」というのがだんだんわかるようになっていきました。

進路を選択するために大切なことは、本人の希望の他、何を優先するか（業務・活動内容、日課、通所方法、工賃、etc）を考えておくことかなと思います。

現場実習は高等部2年で2回、3年生でも2回行いました。卒業式後の3月後半には1週間準備通所もさせていただき、4月から新生活にスムーズに移行できました。

我が家では、中学生の頃から障害者生活支援センターの相談支援を利用し始めました。思春期の頃には不適切な行動をしたり、物を破壊したり、他害をしたり、ということが少なからずあり、支援員の方に学校の面談に同席してもらったこともあります。卒業後も困りごとを相談する場があるのは安心感がありました。また、てんかんで小児神経科に通院していましたが、17歳の時に大人の精神科に転院しました。その際、将来障害基礎年金の申請に必要な診断書や、18歳以上で障害福祉サービスを受けるための区分認定に必要な医師の意見書について対応してくれるかどうかも確認しました。

②卒業してからのこと

生活介護事業所に週5日通所して2年目になります。卒業後の生活は、良くも悪くも単調です。比較的作業中心の事業所なので、学校ほど日課にバラエティもなく本人にとっては見通しを持って落ち着いて生活できているので良い反面、イレギュラーなことへの対応が難しくなったり、こだわりが増えたり強まったりしたように感じます。

人に頼る力があることも自立と考えているので、いろいろな人からのサポート経験を増やすために行動援護の利用を始め、月2回程ヘルパーさんと外出しています。生活介護事業所へは普段車送迎なので、運動不足解消のためヘルパーさんと公園へウォーキングにいくのですが、その後外食でラーメン大盛りを食べるのでエネルギー消費にはなっていないかも？本人が楽しみにしているようなので、良しとしています。余暇活動をするために、移動の支援はありがたいサービスです。

先日20歳の誕生日も過ぎ障害基礎年金の申請も終えました。次は「住まい」について情報収集、子離れ準備進行中です。

＜作業班頒布会にて　親子2ショット＞